

Measurement Results of Quantum Magnet and Ryodoraku

量子磁気と良導絡測定

橋口 修

実験方法

34名（男7名、女27名；年齢 56.24 ± 16.61 ）を被験者として、量子磁気人体測定機器Sub-health detector human body element alarm systemによる測定と良導絡測定を行って結果を比較した。

量子磁気とは？

- ▶ シューマン共鳴 (Schumann resonance) は、地球の地表と電離層との間で極低超長波 (ELF) が反射をして、その波長がちょうど地球一周の距離の整数分の一に一致したものをいう。その周波数は7.83 Hz (一次)、14.1 Hz (二次)、20.3 Hz (三次)、……と多数存在する。1952年、ドイツの物理学者であるウィンフリート・オットー・シューマン (Winfried Otto Schumann, 米国イリノイ大学在籍) により発見された。
- ▶ 1950年代から1970年代にかけて、Paul Nogierは7.83Hzが地球の周波数であり、あらゆるものの基本であるとし、7.83Hzの1/2あるいは倍数を治療に用いることを提唱した。
- ▶ 波動：1975年、ハウル シュミット Paul Schumidtが、物体の「固有周波数」を提唱した。この振動を電気周波数として健康診断に用いようとするのが、量子磁気測定と呼ばれている方法である。

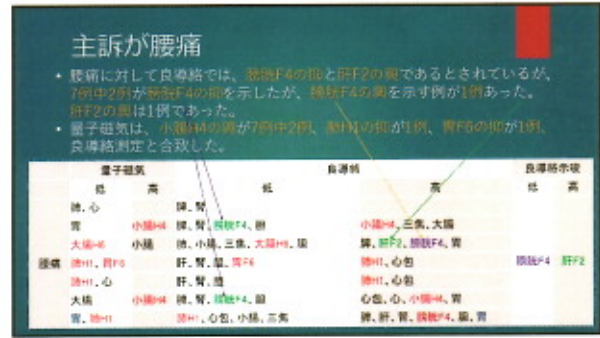
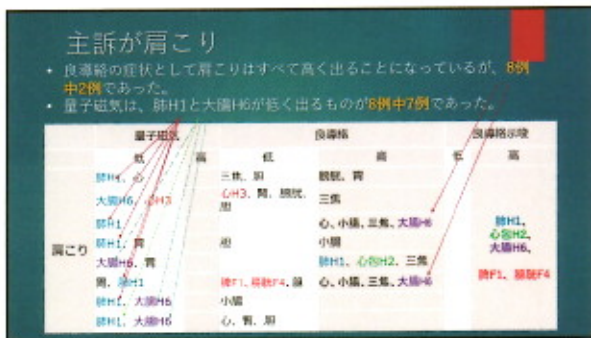
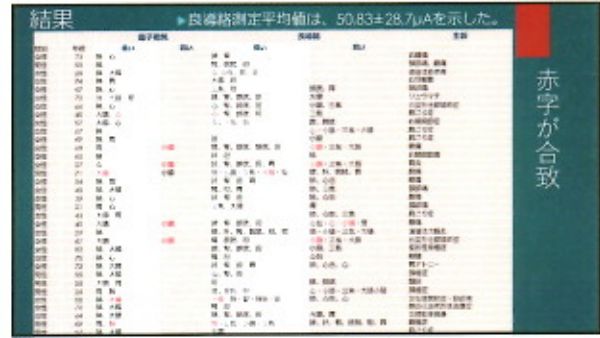
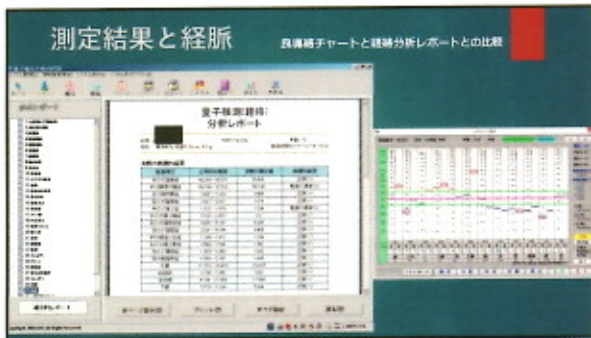
量子磁気共鳴分析器と握り導子



握り導子が二つの部分に分かれている

量子磁気共鳴分析器





Discussion

- 複数の周波数を用いて体脂肪率を算出する方法はすでに実用化されている。
- 複数の周波数における体のImpedanceにより身体の状態を推定することができる可能性がある。
- 皮膚電気抵抗は、皮膚交感神経系の働きを間接的に測定するものであり、良導絡自律神経調整療法は難経系の経脈学派的感覚的な診断法を客観化する試みで始められたものである。
- 良導絡チャートの読み方のより正確な方法を確立し、少なくとも症状と異常良導絡の関係を80%程度にしなければならない。

結論

- 良導絡チャートで示される異常良導絡と症状との関係は実用的な範囲では示されなかった。
- 合致するものもあるが、良導絡と量子磁気測定の結果は相関を示さなかった。
- 肩こりに関しては、量子磁気測定の8例中7例(88%)が肺H1と大腸H6の低下(抑)を示した。